

相対熟度60日クラス

根釧・道北の栽培限界地でも栽培可能

サイレージ用とうもろこし・北海道向け超極早生

「ハヤミノルド」

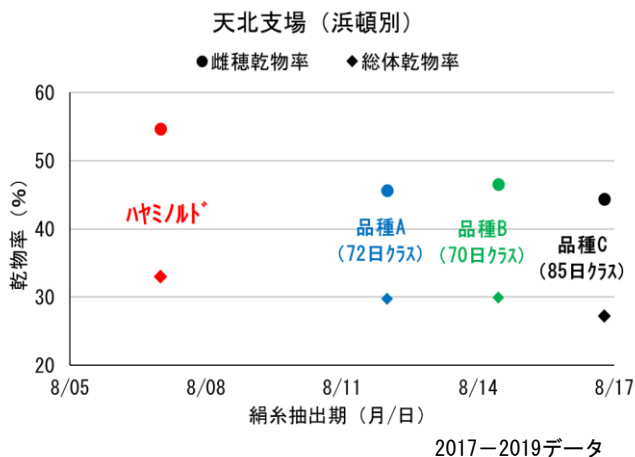


栽培適地 北海道 根釧、道北地域

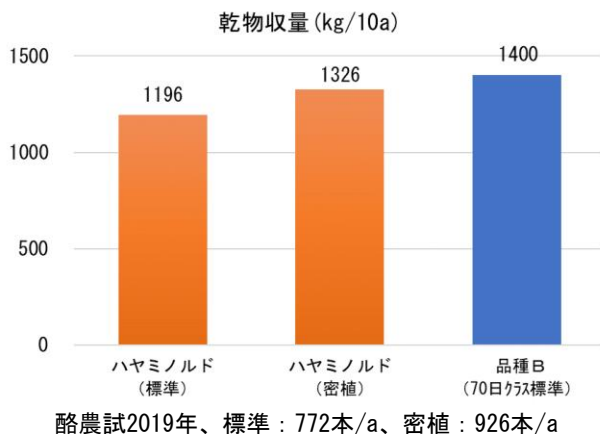
本品種の育成は農林水産省委託プロジェクト研究「栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発」の補助を受けて行った。

「ハヤミノルド」は超極早生で登熟が早いため根釧・道北の栽培限界地での栽培が可能です。また、上川、道央、道南では、8月末～9月上旬のサイレージ収穫が可能です。耐倒伏性が強く、すす紋病抵抗性、ごま葉枯病抵抗性が高い品種であり、高品質自給飼料の安定生産に貢献できます。

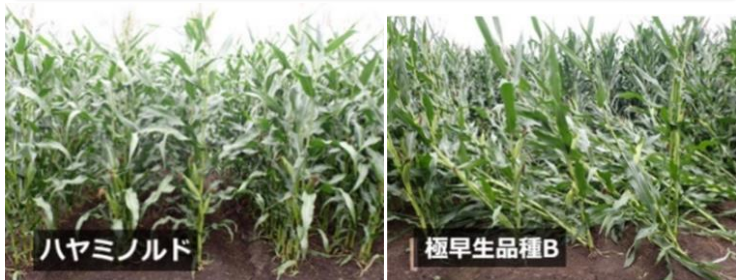
### 1. 「ハヤミノルド」は熟期が超極早生



### 2. 「ハヤミノルド」は、収量が低い密植で増収可能



### 3. 「ハヤミノルド」は、耐倒伏性が強い



(2020年8月に北海道で発生した強風時でも、耐倒伏性の強さを発揮)

倒伏個体率<sup>1)</sup>

試験	品種・系統名	倒伏 %	折損 %	合計 %
道北・根釧 (2場所・3試験) 適地	ハヤミノルド	0.1	0.0	0.1
	品種B (70日ｸﾗｽ)	38.5	0.1	38.6
	品種A (72日ｸﾗｽ)	12.1	0.1	12.2
	LSD (0.05)	n. s.	n. s.	n. s.
倒伏多発試験 <sup>2)</sup> (3場所・3試験)	ハヤミノルド	0.3	0.0	0.3
	品種B (70日ｸﾗｽ)	48.0	0.6	48.5
	品種A (72日ｸﾗｽ)	12.3	0.3	12.5
	LSD (0.05)	18.9	n. s.	18.7

1) 倒伏が発生した試験の平均

2) 天北2017年、酪農試2017年、畜試2017年

### 4. 「ハヤミノルド」は、すす紋病、ごま葉枯れ病に強い



どちらの病害も罹病が進むと甚大な収量減になります (上図は既存品種の発症例です。)

病害抵抗性検定試験 (於：北農研、2017～2019)

	すす紋病 (1: 無～9: 甚)		ごま葉枯病 (1: 無～9: 甚)	
	ハヤミノルド	品種B (70日ｸﾗｽ)	ハヤミノルド	品種B (70日ｸﾗｽ)
平均 <sup>1)</sup>	3.2 a	かなり強	4.2 b	中
			4.1 a	5.3 b

1) abc異文字間で5%水準で有意差あり (LSD)

※ ハヤミノルドはワンホープ乳剤には感受性のため、使用できません

### 【お問い合わせ先: 育成機関】

農研機構 北海道農業研究センター 研究推進部研究推進室、

寒地酪農研究領域 自給飼料生産グループ

〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

電話：011-857-9260

E-mail：cryoforum@ml.affrc.go.jp

URL：https://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/harc/